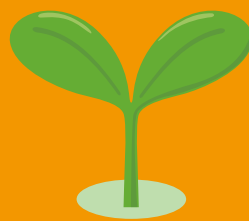


～育てよう 未来を見つめる かがやく瞳～

若い芽



Vol.5

- P 1 青森県の小学生のみなさんへ
みんなでやろう！感染症を拡大させないためにできること
- P 2 インターネットを使う時間、長くなっていませんか？
使い方のルール、まもっていますか？
- P 3 子どもをネットトラブルから守るために
- P 5 こんな活動をしています！
青森市立三内西小学校／平川市立碓ヶ関小学校
三沢市立古間木小学校／五所川原市立三輪小学校
五戸町立倉石小学校／むつ市立第一田名部小学校
- P 8 青少年健全育成に向けた青森県の取組
- P 9 青少年育成青森県民会議 活動報告
- P11 家族でチャレンジ！クロスワード



青森県の小学生のみなさんへ

一青少年育成青森県民会議 橋本会長からのメッセージ

みなさん、こんにちは。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のために、休校になったり、思うように友達と遊べなかったり、旅行やイベントに行けなかったり、たくさん「がまん」をしてきたことと思います。

マスクや手洗い・消毒、ほかの人と近づきすぎないなど、家でも、学校でも、気をつけなければならないことがあって大変ですね。でも、この病気の予防には、「かからない」「うつさない」ための行動を一人ひとりがとることがとても大切です。自分はもちろん、大切な人のために、これからも続けていきましょう。

また、読書や工作・料理など、家の中でも楽しめることを見つけて、やってみましょう。

新型コロナウイルスとの戦いは、わからないことが多いので、みなさんも不安になることがたくさんあると思います。不安な気持ちや思いは、ぜひ誰かに伝えてみてください。みなさんの周りには、いつも、力になりたいと思っている大人がたくさんいるということを覚えていてくださいね。

今は、できることを大切にして、「アフターコロナ」に向けて力をたくわえていきましょう。

みなさんを応援しています。



令和2年12月

青少年育成青森県民会議 会長 橋本 都

みんなでやろう！

新型コロナウイルス感染症を拡大させないためにできること

熱をはかって、体調チェック



具合が悪いときは、おうちの人や先生にすぐ伝えましょう。

マスクをつける



運動するときや息がくるしいときは、会話をひかえて、人とのきよりをとって外しましょう。

こまめに手洗い



食事の前後、トイレの後、ほかの人を使うものをさわった後、外から家の中に入ったとき。

食事中は、料理に集中



できるだけ正面にすわらず、おしゃべりはひかえめに。コップの使いまわしはしません。

ウイルスと戦っている人たちを応援しよう！

お医者さんや看護師さん、感染した人のお世話をしている人たちに「ありがとう」を！

みなさんの「感謝」や「応援」の気持ちは、ウイルスと戦う仕事をしている人の大きな「力」になります。

病気にかかってしまった人を「差別」せず「応援」しよう！

もし自分が病気にかかったら、どんな言葉をかけてほしいかな？想像してみましょう。

インターネットを使う時間、長くなっていませんか？ 使い方のルール、まもっていますか？

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、オンライン学習や直せつ会えない人とのオンラインでの交流など、小学生のみなさんもインターネットを使う場面がふえたと言われています。

スマートフォンやゲーム機などでインターネットを使っていると、便利なことや楽しいことがたくさんありますが、使い方をまちがえると、きけんな目にあったり、トラブルにまきこまれてしまいます。

知っておきたいインターネットの特ちょう

いちど おく ぶんしょう しゃしん
**一度送ってしまった文章や写真は、
世界中に発信され、
完全に消すことはできません**

なまえをかくして ほうしんしても、
**調査すればだれが送ったのか
必ずわかります**

インターネット上でのトラブルは、今だけでなく将来にわたって
自分や家族、友だちをきずつける可能性があります！

まもっているかな？チェックしてみよう！ インターネットの使い方の7つのやくそく「かつおのみそしる」

- か** 人の悪口やうそを **か** きこまない
- つ** 他人のパスワードを勝手に **つ** かわない
- お** 自分の名前や住所を **お** しえない
- の**
- み** 知らないサイトやメールは **み** ない
- そ** 困ったらすぐに大人に **そ** うだんする
- し** ネットの話をすぐに **し** んようしない
- る** 家族で決めた **ル** ールを守る



こえにだして
読んでみよう！



SNSの使い方、ほかにもこんなことに気をつけよう！

- ☑ メッセージのやりとりは、例えば「夜9時まで」など時間のルールを相手と決めましょう。
なかなか自分からやめにくくても、「時間だからまたあしたね！」
- ☑ インターネット上で知り合った人に「会おう」と言われても絶対に会ってはいけません。
悪い大人がうそをついて近づいているのかも。犯罪にまきこまれてしまいます。
- ☑ インターネット上のやりとりは気持ちが伝わりにくいことをおぼえておこう。
受け取り方は人それぞれ。だいじなことは、直せつ伝えよう！
- ☑ 個人情報、自分のものも友だちのものも、のせてはいけません。
自分がされていやなことは、友だちにもしない。SNSだけじゃないよね！

安全に使えているかな？おうちの人とインターネットの使い方について話し合ってみよう！

一保護者の皆様へ 子どもをネットトラブルから守るために

子どもたちにとって、インターネットやスマートフォンをはじめとするデジタル機器、SNSなどのコミュニケーションツールは避けては通れないものになりました。これらは安全に正しく使うことができれば、子どもたちにとって情報収集や自己表現の強い味方になりますが、使い方を少し間違えただけで将来にわたって子どもたちを傷つけるトラブルの原因となることもあります。子どもたちがインターネットを安全に利用するには、周囲の大人の手助けが不可欠です。子どもたちが自分自身の力で正しく使いこなせるようになるまでしっかり見守り、相談しやすい雰囲気づくりを心がけましょう。

知っておきたい子どものネットの使い方

スマホを触っているから「遊んでいる」とは限りません。勉強のためにSNSや動画サービスを利用する場合もあります。

保護者の方の中には、スマホをサクサク使いこなす子どもを横目に、使い方がよくわからず何をどのように注意したらすれば良いかわからない方もいらっしゃるかもしれません。

コロナ禍により、ZOOMやYouTubeによるオンライン学習など、学校教育におけるインターネット利用の重要性も注目されました。

子どもたちをネットトラブルや犯罪被害から守るためには、私たち大人も、子どものSNS、インターネットの使い方について「知る努力」が必要です。

ポイント1 フィルタリングの設定

お子さんが使用するインターネット接続端末には、有害なサイトや危険なメールをブロックする「フィルタリング」を設定するのが基本！

スマホの販売業者は、18歳未満が使う端末にはフィルタリングを有効にする義務があります。また、保護者も、使用者が18歳未満であることを販売業者に申し出る義務があります。

犯罪被害にあった子どもの多くがフィルタリングを設定していなかったという警察庁の調査結果があります。必ず設定しましょう。

具体的な設定方法については、携帯電話取扱店にご確認ください。

ポイント2 家庭でのルールづくり

インターネットの使い方をふだんから話し合い、子どもの意見を取り入れながら、無理せず実践できる「我が家のルール」を決めましょう。小学生のうちからルールづくりに取り組み、成長に応じて見直していく中で、子どもも少しずつ自分自身でコントロールしていけるようになります。

コロナ禍の「ステイホーム」で、お子さんのネット・ゲーム三昧を心配したご家庭も多いと思います。また、せっかく作ったルールが崩れてしまったご家庭もあるかもしれません。

ネットやゲーム以外のコミュニケーション手段を一緒に考えるなど、ルールづくりは根気よく続けていきましょう。また、日常生活に支障をきたすまで長時間没頭してしまう場合は、専門家に助言をもらうことも考えましょう。次ページの相談窓口を参考にしてください。

県・県教育委員会・県警察本部による
青少年の安全・安心なネット利用環境づくり
啓発キャンペーン

青少年のネットモラルやリテラシーの向上、適切なネット利用に関する社会全体の関心を高め、SNS等を介したいじめや犯罪被害を未然に防止するため、「インターネットでキズつけない! キズつかない!」をキャッチフレーズに県・県教育委員会・県警察本部による啓発キャンペーンを実施しています。

「新しい生活様式」にも欠かせないインターネット! 子どもたちがインターネットを利用する機会が増えています。ネットトラブルに巻き込まれてキズつくことがないように、周囲の大人がしっかり見守りましょう!

青森県・青森県教育委員会・青森県警察本部

こんなときどうすればいい? 子どもをトラブルから守るQ&A

Q. LINEのグループトークで自分の子どもが他の人を傷つける書き込みをしていることがわかった場合、どうすればいいですか?

A. LINEでの書き込みは、当事者間で削除することになります。SNS上と違って、グループ内の限られた人とのやりとりとなるためです。

場合によっては、保護者同士が責任をもって書き込み内容を削除させたり、関係者に連絡して事実を確認する必要があります。

LINE上でのやりとりは誤解が生じやすいこと、相手の受け取り方を想像して書き込むことを日頃からお子さんと話し合いましょう。

Q. SNSなどで誹謗中傷や許可なく画像などが掲載されていることがわかった場合、どうすればいいですか?

A. 本人・保護者が「SNS運営事業者」「(ブログ・掲示板など) ページ作成者」「プロバイダ(ネット接続事業者)」に削除依頼することになります。

<誹謗中傷に関する相談先>

■違法・有害情報相談センター(総務省支援事業)

■誹謗中傷ホットライン

(一般社団法人セーフアーインターネット協会)

インターネット上の誹謗中傷、名誉棄損、プライバシー侵害、人権侵害などに関する書き込みへの対応や削除依頼方法、その他トラブルに関する対応方法などが相談できます。

各ホームページに相談内容の送信用フォームがあります。

毎月第3日曜日は 「家庭の日」



青森県及び青少年育成青森県民会議では、毎月第3日曜日を「家庭の日」とし、家族のぬくもりを通じて絆を深める日としています。
 コロナ禍による「ステイホーム」は、家族で過ごす時間の大切さを見直すきっかけにもなりました。
 それぞれのご家庭にあった「家庭の日」について、ぜひ、家族みんなで話し合ってみてください！

①

家族みんなで集まり、話し合う時間を持ちましょう

毎月の「家庭の日」の計画を立ててみませんか？

また、地震や停電など「いざ」というときの備えや避難場所などを家族みんなで定期的に確認しましょう。



②

家族みんなで協力しあいましょう

家事はみんなで分担し、家族は助け合いながら生活していることや、それぞれに役割や責任があることを子どもたちに伝えていきましょう。



③

家族みんなで過ごす時間を楽しみましょう

「新しい生活様式」を心がけながら、お出かけやスポーツを楽しみましょう。一緒に料理するだけでも子どもたちにとっては楽しいイベントです。

様々な体験の機会が、子どもたちの心を豊かにします。



— 一人で悩まず相談してください —

子どものトラブルに関する相談窓口

子どものいじめ、虐待、不登校などに関する相談

24時間子供SOSダイヤル(青森県教育庁)

☎017-734-9188 または ☎0120-0-78310

ネット上の犯罪被害を発見したとき、犯罪に巻き込まれたとき

警察安全相談(青森県警察本部)

☎#9110 または ☎017-735-9110
 ※受付時間 8:30~17:00(土日祝日、年末年始を除く)

ネット上のいじめや有害情報を発見したら

ネット通報窓口(青森県教育庁)

<https://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/mimamori.html>



少年の非行・家出・犯罪被害などに関する相談

(青森県警察本部少年女性安全課)

ヤングテレホン ☎0120-58-7867(こどもはなやむな)
 ※受付時間 8:30~17:15(土日祝日を除く)

ヤングメール ☒youngmail-58767@extra.ocn.ne.jp
 ※24時間受理、回答は2、3日後

ネットトラブル(消費者問題)の相談

まず相談/消費者ホットライン

青森県消費生活センター

☎017-722-3343

※受付時間
 (平日) 9:00~17:30
 (土・日・祝日) 10:00~16:00
 ※休日 年末・年始

188

お近くの消費生活センターにつながります

ネット依存に関する相談

青森県医師会 子どものネット依存(健康被害)相談窓口

☎017-757-9888

※相談受付(平日のみ) 13:00~16:00(祝・祭日は除く)

※対象 県内在住の小・中学生、高校生及びその保護者、県内の教育関係者

子ども・若者総合案内(青森県青少年・男女共同参画課)

お悩みの内容に応じた相談窓口・専門機関を紹介します。

☎017-777-6123

※受付時間 9:00~17:00(土日祝日、年末年始を除く)

あおり子ども・若者支援機関マップ

青森県青少年・男女共同参画課では、「子ども・若者」の自立を支援するための相談窓口・専門機関を紹介する「あおり子ども・若者支援機関マップ」を作成しており、県ホームページからダウンロードできます。

青森県ホームページ

子ども・若者 マップ

検索

青森市立三内西小学校

～三内中学校区の三校と地域とが連携・協働する「次世代の学校づくり」の推進～

東青地区



本校は、三内中・三内小・三内西小の三内地区の三校で小中一貫教育を推進しています。学区に三内丸山遺跡や県立美術館があるなど学習素材・施設に恵まれ、総合的な学習の時間などの学習に取り入れています。隣接する沖館川多目的遊水地「リバーランドおきだて」は、気軽にスポーツが楽しめる施設としてたくさんの市民に利用されています。

昨年度、三内中学校区学校運営協議会が設置されました。学校や地域の課題を話し合い、学校と地域が連携・協働した学校づくりを進めています。



東京藝術大学の准教授を講師に「縄文をテーマにした体験活動プログラム」をリモートで行いました。



5年生は稲作体験を行い、食への関心を高める学習につなげています。



8月26日に行われた「県内一斉声かけ活動」では、三村知事と地域・保護者・子どもたちが明るいあいさつをかわしました。



ねぶた囃子クラブの活動の様子。例年、三内ねぶた愛好会の方々を中心に、地区内のねぶた運行を行います。



学校運営協議会を年5回実施します。地区の運営委員や関係機関の方に、学校運営をバックアップしていただいています。

平川市立碓ヶ関小学校

～元気いっぱい やる気いっぱい
笑顔いっぱい 三笠っ子～

中南地区



本校では、各学期のはじめの3日間、PTAや平川市碓ヶ関民生委員協議会の皆様のご協力により、朝の登校指導を展開しています。さらに、今年度はリトルJUMPチームを中心とするあいさつ運動も行い、スローガンにもある「笑顔いっぱい 三笠っ子」をめざして日々明るいあいさつに励んでいます。

他にも、小中合同運動会、碓ヶ関地区のこども園・小学校・中学校が連携したクリーン作戦、大館市立矢立小学校との交流などを通して、すくすくと育てている三笠っ子たちです。



「明るいあいさつをしましょう！」リトルJUMPチームが呼びかけました。



保護者や地域の皆様と一緒に「おはようございます！」



大館市立矢立小学校とのオンライン交流会「来年は直接会いましょう！」



こども園・小学校・中学校合同クリーン作戦「みんなできれいな碓ヶ関に！」



今年中止の「たけのこマラソン大会」いつもは全員エントリー！

三沢市立古間木小学校

～「ふるまぎ運動」で
元気いっぱいの学校づくり～

上北地区



三沢市南西部に位置する本校は、今年創立115周年を迎えました。

学校では、「ふるまぎ運動」＝「**ふ**だんのあいさつ 明るいあいさつ **る**ールを守って安全な生活 **ま**いにち元気に体力づくり **き**もちよいきれいな学校」を合言葉に生活しています。

また、地域ボランティアの皆さんがたくさん来校し、授業や行事でのお手伝い、絵本の読み聞かせなど、日頃から大変お世話になっています。これからも、家庭・地域とともに、よりすばらしい学校を目指します。



計画委員会を中心に朝のあいさつ運動を行っています。



「七夕集会」では、みんなで願いごとを飾ります。



夏休みに開催した「ふるまぎゼミナール」習字&絵画教室です。



ミシンボランティアとして地域の方にお手伝いしていただいています。とっても助かっています。



図書ボランティアによる「壁面飾り」は、季節ごとに変わります。

五所川原市立三輪小学校

～「地域とともにある学校」づくりを
めざして～

西北地区



本校では、毎年、春と秋に「交通安全・声かけ運動」を実施しています。目的は、交通事故防止と子どもたちの安全意識の向上、挨拶の励行です。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、春の運動は残念ながら中止としましたが、秋は、教職員、子どもたち、PTAと地域住民みんなで実施することができました。

本校は、車の往来が激しい国道沿いに校舎があるのですが、今まで子どもたちが交通事故にあうこともなく、元気に学校生活を送っています。



この日は
6年生が中心となって
玄関で声かけ活動をしました。

PTA会員と交通安全協会の方々と一緒に声かけ活動を行いました。



交通安全・声かけ活動の旗が並んでいます。国道に面した本校では、地域の方々で交通安全に取り組んでいます。



子ども同士、元気にあいさつして学校に入ります。今日も一日、楽しく過ごそう！

五戸町立倉石小学校

～「確かな絆」「より強いつながり」づくりをめざして～

三八地区



本校では、企画委員会が中心となり、全校であいさつ運動を実施しています。他にも、家庭や地域と連携し、ペットボトルのふたやプルタブ、雑紙のリサイクル活動やクリーン作戦等にも取り組んでいます。

また、地域の方を学校支援コーディネーターとして迎え、学年ごとに水辺の生き物探し、稲作体験、りんご栽培体験など、倉石だからこそできる体験学習を取り入れ、地域の自然に関心をもち、大切にしている児童をめざしています。



企画委員会が中心となってあいさつ運動について話し合い、今年度は、学年ごとに日にちを決め、あいさつ運動を実施しました。



4年生の水辺の生き物探し。学校支援コーディネーターさんに教えていただきながら、地域の自然に親しみました。

6年生のりんご栽培体験。地域の特産物について、理解を深めています。



5年生の稲作体験。田植えから稲刈りまで体験することが、食育にもつながっています。



むつ市立第一田名部小学校

～児童の良さや可能性を見出す学校づくりをめざして～

下北地区



元気な、さわやかなあいさつを、気持ちがいいなあと感じられるセンサーを一人一人の子どもに持ってほしい。そんな子どもに育てていけたらと思います。正しいセンサーが育てば、あいさつが自然にできると思うから。

あいさつがとても大切であることは、大人になると身にしみてわかります。

だからこそ、地域の方と学校とが力を合わせて、明るいあいさつのシャワーを子どもたちに浴びせることこそ、今できることなのではないでしょうか？



新一年生には上級生たちが優しく声をかけます。

今年は新型コロナウイルスの感染予防のため、マスクをつけてのあいさつ活動となっています。



地域のボランティアの方との活動は、大切なコミュニケーションの機会でもあります。これからもあいさつ活動を大切にしていきます。

青少年健全育成に向けた青森県の取組

「輝く笑顔推進キャンペーン」県内一斉声かけ活動

年4回、各1週間程度の期間を設定し、県内の小学校・中学校・高等学校、特別支援学校で一斉に、保護者や地域住民等が参加して互いに声をかけあう声かけ活動を実施しています。(主催：青森県、共催：県教育委員会、県警察本部、青少年育成青森県民会議)



コロナ禍の中でも各学校が工夫しながら、子どもたちを温かく見守っています。

他人を思いやり命を大切にすることを育む対話集会

(参加生徒から)
命があることの大切さを実感しました。自分や家族、友達への命も大切にしていきたいです。



(地域の方から)
地域と学校が一体となって、宝物である子どもを育てていく意識を持つことができました。

地域の大人と中学生・高校生が「思いやり」や「命の大切さ」について意見交換する「対話集会」を実施しています。今年度は県内3つの中学校と4つの高等学校で実施し(※)、生徒と地域の大人との相互理解を促進し、信頼関係の構築を図ることによって、地域全体で子どもを見守る環境づくりを進めています。(※令和2年11月末現在の予定校数)

「笑顔の未来へ」メッセージ作品募集事業

次代を担う子どもたちが命を大切に、他人への思いやりを持ち、たくましく健やかに成長していけるよう、県民総ぐるみで推進している「命を大切にすることを育む県民運動」の一環として、「未来への前向きな思い」などをテーマとした作品を県内の小学生・中学生・高校生を対象に募集しました。

2,450点の応募の中から決定した入賞作品のうち、各部門の最優秀賞・優秀賞をご紹介します。

メッセージ部門 家族や友達、10年後の自分自身などに宛てた、応援してほしい夢や希望など、未来への前向きな思いをつづった作品



小学生の部 最優秀賞
足立 ふたばさん(おいらせ町立木ノ下小学校1年)
びょうきのひとを、たすけられるやくざいしになりたいです。でも、そのころにはぜんぶのびょうきがなくなっているといいな・・・



小学生の部 優秀賞
川守田 光輝さん(南部町立名久井小学校5年)
ほくは果実農園を作りたい。母に「お父さんに似ているね。」と言われてうれしかった。ほくの作った果実でみんなを笑顔にしたい。



中学生の部 最優秀賞
西崎 楓さん(青森市立南中学校3年)
バスに乗った。おばあちゃんに席を譲ったら笑顔で「ありがとう」。心がポカポカした。小さな心のポカポカでみんなを笑顔にしたい。



中学生の部 優秀賞
竹内 莉奈さん(むつ市立大畑中学校3年)
あなたは誰かを支えられるようになっていませんか?今度は、あなたが誰かを支える番です。優しく強い心を持つ人になりますように・・・



高校生の部 最優秀賞
豊嶋 珠理さん(青森県立八戸北高等学校1年)
今、頑張っていることが、全て正解かどうかなんてわからないけど、今、頑張っていることを後悔しない未来が来ると信じている。



高校生の部 優秀賞
齋藤 明香さん(弘前学院聖愛高等学校3年)
もう一歩。もうひと踏ん張り。「頑張れ。大丈夫。」そんな声援に飛びっきりの笑顔で応えられる力強い人でありたい。

図画部門 家族のふれあいがあり、明るく楽しい雰囲気表現した「わが家の『家庭の日』」をテーマとした作品(小学生対象)



最優秀賞
築田 涼佑さん(田子町立上郷小学校5年)

お母さんとお姉ちゃんとおばあさんと4人で、お墓に花火をしました。楽しかったです。皆できれいだなあと感じているところです。



優秀賞
細川 詩乃さん(青森市立大野小学校4年)

今年はお花見に行けませんでした。休日に家族で桜並木を散歩した事を絵に描きました。



入賞作品を掲載した「令和3年度版カレンダー」を作成し、県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校に配付します。

第42回青森県少年の主張大会を開催しました

令和2年9月18日(金)、むつ市立田名部中学校を会場に、「第42回青森県少年の主張大会」を開催しました。
(主催：青少年育成青森県民会議・独立行政法人国立青少年教育振興機構)

少子高齢化、国際化、情報化が急速に進み、環境が目まぐるしく変化する現代社会において、子どもたちは、広い視野と柔軟な発想や創造性などとともに、物事を論理的に考える力や、自らの主張を正しく伝え、理解してもらう力を身につけることが大切です。この大会は、子どもたちにとってこれらの契機となることを願い、実施しています。

当日は、応募作品の中から原稿審査で選ばれた8名の中学生が、それぞれの主張を力強く発表しました。

審査の結果、『私の幸せ』の演題で発表した今別町立今別中学校3年の横岡奈子さんが最優秀賞に選ばれました。

第42回 青森県少年の主張大会

主催：青少年育成青森県民会議 / 独立行政法人 国立青少年教育振興機構



出場者による発表の後には、フリーアナウンサーの中島美華さんによる「若者よ“ご縁”をつかめ！」と題した講演が行われました。

田名部中学校の生徒さんへのインタビューや、講演の最後には歌声も披露していただき、楽しい時間となりました！



最優秀賞を受賞した
横岡 奈子さん

フリーアナウンサー
中島 美華さん



最優秀賞

私の幸せ 今別町立今別中学校 3年 横岡 奈子 さん

優秀賞

言えない自分 青森市立南中学校 3年 松山 風音 さん
えんぶりがつなぐもの 八戸市立是川中学校 3年 木村 莉緒 さん

優良賞

将来に向けての第一歩 風間浦村立風間浦中学校 1年 五十洲ひなた さん
自信 八戸市立是川中学校 3年 工藤 小陽 さん
青い空 むつ市立田名部中学校 2年 宮古 萌生 さん
どぶ 階上町立道仏中学校 2年 石橋華七子 さん
この町に出会って むつ市立田名部中学校 2年 大畑 凧央 さん



自分にとって“ご縁”とは何だろう・・・？
皆さん真剣に考えていました。

青少年育成青森県民会議を応援しています / 令和2年度 特別会員(団体・企業)の皆様

(敬称略)

<青森市>

- 青い森鉄道株式会社
- 青森つとライオンズクラブ
- 青森オフセット印刷株式会社
- 青森かもめライオンズクラブ
- 青森ギフト株式会社
- 青森空港ビル株式会社
- 青森県遊技業協同組合
- 青森ZEROライオンズクラブ
- 青森中央ライオネスクラブ
- 青森中央ライオンズクラブ
- 青森中央ロータリークラブ
- 青森トヨタ自動車株式会社
- 青森ねぶたライオンズクラブ

- 青森はまなすライオンズクラブ
- 青森放送株式会社
- 青森まほろばライオンズクラブ
- 青森ライオネスクラブ
- 青森ライオンズクラブ
- 一般財団法人青森県高等学校安全互助会
- 一般社団法人青森県建設業協会
- 一般社団法人青森県産業資源循環協会
- 株式会社青森銀行
- 株式会社東洋社
- 株式会社ヒグチ
- 株式会社ローソン青森西支店
- 川口印刷工業(株)青森営業所
- 公益社団法人青森県柔道整復師会

- 公益社団法人青森県宅建物取引業協会
- 社会福祉法人青森県共同募金会
- 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
- 第一印刷株式会社
- 第一生命保険株式会社青森支社
- 中央薬品株式会社中央調剤薬局
- 電源開発株式会社
- 東奥日報販売店主会
- 東北電力株式会社
- 日本生命保険相互会社青森支社
- 日本放送協会青森放送局
- 三井住友海上火災保険株式会社青森支社
- 明治安田生命保険相互会社青森支社
- 有限会社ほてい堂薬局

青少年育成青森県民会議 活動報告

青少年健全育成の推進に貢献した団体・個人を表彰しました

当県民会議では、青少年健全育成の推進に貢献した団体・個人などを「青少年育成青森県民会議表彰」において毎年度表彰しています。例年、6月に開催する県民会議総会で表彰式を行ってありますが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、総会を书面開催としたことから、9月23日(水)に東奥日報新町ビル(青森市)において受賞者及び関係者をお招きして表彰式を開催しました。

今回表彰を受けられた令和元年度受賞者の皆様は下記のとおりです。(敬称略)

団体の部 4団体

社会福祉法人中央福祉会幼保連携型 認定こども園中央文化保育園(青森市)	青森県健全育成推進員弘前地区協議会 (弘前市)
平川市子ども会育成協議会(平川市)	階上町子ども会育成連絡協議会(階上町)



個人の部 8名

長崎 誠一 (青森市)	菊地 廣美 (弘前市)
小林 秀記 (十和田市)	佐々木 正日公 (つがる市)
清藤 盛正 (平川市)	米澤 ノブ子 (板柳町)
小川 學 (横浜町)	赤澤 栄夫 (南部町)



社会的貢献の部 2団体

青森かもめライオンズクラブ	青森県遊技業協同組合
---------------	------------

善行少年の部 2名

小鹿 慎之助(青森市立浪打小学校)	野田 稜太(青森市立浪打小学校)
-------------------	------------------



横断歩道を渡り切れずに
いた高齢の女性を
助けたくれ
ました！

青少年育成推進指導員満10年勤続者に対する感謝状贈呈 4名

種市 誠 (黒石市)
菊池 三千郎 (おつ市)
木村 正 (風間浦村)
上沢 孝範 (田子町)



受賞者の皆様、おめでとうございます！

青少年育成青森県民会議を応援しています！ 令和2年度 特別会員(団体・企業)の皆様

(敬称略)

フタナベサービス株式会社
＜弘前市＞
青森県カラオケ事業防犯協会
株式会社伸和産業
株式会社青南商事
嶽開発株式会社
＜八戸市＞
株式会社菅原ディーゼル
株式会社北奥設備
協同組合八戸管工事協会
＜五所川原市＞
五所川原ライオンズクラブ
有限会社アート印刷

＜十和田市＞
社会福祉法人福祉の里
田中建設株式会社
＜三沢市＞
株式会社青建設計
鈴木建設工業株式会社
浪岡電設株式会社
三沢市商工会
三沢東ロータリークラブ
有限会社宮野燃料
＜おつ市＞
一般社団法人おつ青年会議所
株式会社マエダ
おつ商工会議所

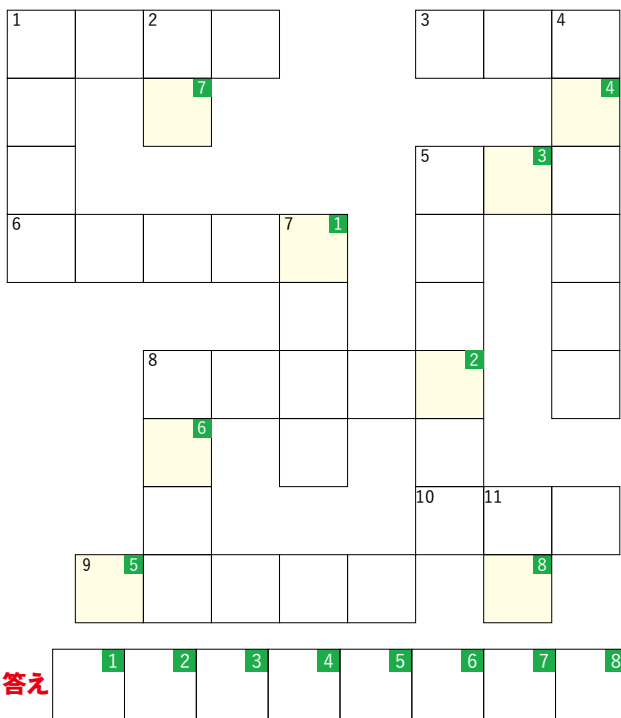
リサイクル燃料貯蔵株式会社
＜平川市＞
株式会社西谷造花店
＜藤崎町＞
常盤村養鶏農業協同組合
＜六ヶ所村＞
日本原燃株式会社
＜おいらせ町＞
有限会社三沢自動車
＜県外＞
日本たばこ産業株式会社東北支社

温かいご支援ありがとうございます！



抽選で図書カードをプレゼント! 家族でチャレンジ!クロスワード

タテ・ヨコそれぞれのカギをヒントにクロスワードを
といてみよう!色の付いたマスの文字を **1** から **8** の
順番に並べると、「ある言葉」が完成するよ!
おうちの方と一緒に考えて、プレゼントに応募してね!



タテのカギ

- ① どちらかの足がいつも地面を離れないようにして早く歩く競技。
- ② 果汁などをゼラチンで固めた、独特の食感のお菓子。
- ④ 四国地方にあって、阿波おどりやお遍路さんが有名。
- ⑤ 吊るしていぶした大根を米ぬかに漬ける秋田県の特産物。
- ⑦ 駅の出入口や列車内で、乗客のきつぷなどを調べること。
- ⑧ 自分にあった解消方法を見つけて、うまく付き合おう。
- ⑩ 節分の日には、「〇〇は外～、福は内～」。

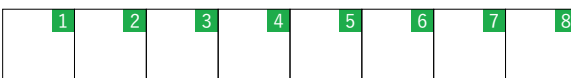


ヨコのカギ

- ① 気が変わりやすいこと。思いつきや気分で行動する様子。
- ③ かまぼこの一種。断面はうずまき状の模様になります。
- ⑤ 安らぎを感じさせる人や物の存在を「〇〇系」と呼んだりします。
- ⑥ 漢字で書くと「鳳仙花」。タネをはじき飛ばすことで有名。
- ⑧ 水溶性の絵の具で描いた絵のこと。油彩画とは違います。
- ⑨ 「歴史」を英語で何という?
- ⑩ 固体の状態にある水のこと。



答え



プレゼント

抽選で **20名** の方に **1,000円分** の図書カードをプレゼント!

応募方法

はがきに【①答え】【②氏名】【③郵便番号・住所】【④「若い芽 vol.5の感想」または「家庭の日について思うこと」】を明記して、次のあて先まで送ってください。

あて先

〒030-8570 青森市長島1-1-1 県青少年・男女共同参画課内 青少年育成青森県民会議

しめきり

令和3年1月29日(金) ※当日消印有効

答え・当選者

2月上旬、県民会議ホームページで発表します!

たくさんのご応募
お待ちしております!



新規会員 (個人・団体・企業) 募集中

子どもたちの健やかな成長と一緒に応援しませんか?

次代を担う青少年が、心身ともに健やかにたくましく成長することは、県民すべての願いです。青少年育成青森県民会議は、国や県が行う施策に呼応し、県内の市町村や関係団体と連携して青少年育成県民運動を推進しています。現在、新規会員を募集中です。多くの皆様のご加入をお待ちしています!

Q 青少年育成青森県民会議は、どんな活動をしているのですか?

地域でのあいさつ運動の推進、「少年の主張大会」や各種研修会・勉強会の開催、育成関係者の表彰など、青少年の健全育成に関するさまざまな事業を行っています。

Q 会員になりたいのですが、どうすればいいですか?

入会申込書をお送りしますので、事務局(県青少年・男女共同参画課)までご連絡ください。

入会申込書はホームページからもダウンロードできます。必要事項を記入し、お送りいただいても構いません。

年会費

当県民会議の活動は、趣旨にご賛同いただいた皆様の温かな支援に支えられております。ご支援・ご協力をお願いします。

正会員

- 個人 …………… 3,000円
- 団体・企業 …… 6,000円

特別会員

- 個人・団体・企業 …… 10,000円以上

情報啓発誌 若い芽 第5号 (2020年12月発行)

■編集・発行■



～育てよう 未来を見つめる かがやく瞳～

青少年育成青森県民会議

会長 橋本 都

青少年育成青森県民会議 事務局
青森県環境生活部 青少年・男女共同参画課

〒030-8570 青森市長島1-1-1
TEL. 017-734-9224 FAX. 017-734-8050
E-mail: seishonen@pref.aomori.lg.jp

青少年育成青森県民会議

検索